

68 期 1 学年 江風探究ユニット④（全 1 時間）について（案）

「68 期 1 学年 江風探究ユニット 実施計画」（5 月職員会議資料）に基づいて、以下の通り、ユニット④（全 1 時間）を実施する。

探究テーマ：「新潟市からの挑戦状（5 テーマ）について行った探究活動を、発表しよう！」

目 的：「新潟市からの挑戦状（5 テーマ）」（※）について行った、仮説の設定から実証に至るまでの一連の探究活動（江風探究ユニット③）を、ポスターの形式で発表することによって、2 年次の課題研究にもつながるような表現力を養う。 ※新潟市からの挑戦状（1 健康寿命延伸、2 雇用創出、3 農業・食文化の発展、4 持続可能な公共交通の構築、5 インパウンドの推進）

日 程：12 月 12 日（水）7 限 15：40～16：35（4 限～6 限 50 分授業） 55 分

場 所：第 1 体育館

方 法：各クラス 10 班（9 クラスで 90 班）が、交代でポスター発表と聴講を行い、質疑応答まで行う。発表を 5 分、質疑応答を 2 分とし、計 7 分のクールを 4 回まで行う。第 1 クール・第 3 クールは奇数班が発表し、偶数班が聴講する。第 2 クール・第 4 クールは偶数班が発表、奇数班が聴講する。当日は本校の職員だけでなく、校外から審査員兼アドバイザーとして、新潟市や新潟大学、企業関係者を招き、ポスター発表の審査をしてもらう。

当日の流れ：

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 昼休み | 事前準備（イスや机、パネルの搬入など） |
| 15：30 | 6 限終了 |
| 15：35 | 第 1 体育館に集合 |
| 15：40 | 開会式（7 分） |
| | 校長挨拶および来賓紹介（新潟市、新潟大学、企業関係者） |
| 15：50～15：57 | 第 1 クール（7 分）奇数班発表&偶数班聴講および質疑応答 |
| 16：00～16：07 | 第 2 クール（7 分）偶数班発表&奇数班聴講および質疑応答 |
| 16：10～16：17 | 第 3 クール（7 分）奇数班発表&偶数班聴講および質疑応答 |
| 16：20～16：27 | 第 4 クール（7 分）偶数班発表&奇数班聴講および質疑応答 |
| 16：28～16：35 | 閉会式（7 分） |
| | 講評（来賓を代表して 1 名。新潟大学か新潟市） |

備 考：

来賓の方からアンケートを記入してもらい、学年通信などで紹介をする。

江風探究ユニット⑤は、各自が 3 学期に以上の活動をもとに論文を作成する。

68 期 1 学年 江風探究ユニット 実施計画【抜粋】

県立新潟南高等学校 SSH 総務部 主任 新野 貴大

（１）江風探究ユニット展開と、主として身に付けさせたい能力について

| | 資料を 活用する能力 | 探究力 | | | | | |
|---|---------------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|
| | | 課題発見力 | 仮説設定力 | 計画力 | 実証力 | 考察力 | 表現力 |
| ① | ◎ | | | | | | |
| ② | | ◎ | ◎ | | | | |
| ③ | ○ | | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| ④ | | | | | | | ◎ |
| ⑤ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ |

（２）取組の内容

【ユニット①】 実施：４月～５月

- 国語総合の授業３時間で実施。図書館と連携し、**文章読解力**や**資料を活用する能力**等を身に付けさせる。
- クラス単位でスピーチによる発表を行う。

【ユニット②】 実施：７月４日(水)・７月末（23日(月)・24日(火)のどちらかで１時間）

- ７月４日(水)LHR。４名程度×10班（５テーマ×２）で実施。生活する中で感じる新潟市の課題と、そう感じる根拠**（課題発見）**、および、それを解決するための方策として考えられること**（仮説設定）**を、A3で１枚程度にまとめる。資料は用いず、ヒントも与えない。発表はクラス単位で任意。
- ７月末に新潟市の担当者による講演会を実施。ここで、『新潟市からの挑戦状』（分野振り分けなどはこちらで作成したもの）を生徒に向けて提示していただく。

【ユニット③】 実施：２学期中間考査終了後（10月初旬～中旬）

- ユニット①における『新潟市からの挑戦状』を受け、各クラス４名程度×10班で各班一つずつテーマを担当する。以下のテンプレートを当てはめたワークシートを用いて探究活動の流れに沿って展開する。

| | |
|---|--|
| ◇ | （仮説設定） ：どのような方策により、どのような効果があるかを考え、提案する。 |
| ◇ | （計画） ：仮説の裏付けをするためにどのような資料を収集するかを検討する。 |
| ◇ | （実証） ：収集した資料から、仮説の裏付けとなるデータを抜き出し、集約する。 |
| ◇ | （考察） ：データの分析から、仮説の真偽を検証し、結論づける。 |

- ワークシートの写しを新潟市の担当者に送付する。

【ユニット④】 実施：２学期末考査終了後（12月初旬～中旬。スピーチコンテストは10月頃実施）

- ユニット③で出した結論を、模造紙１枚にまとめてポスターセッションを実施する**（表現）**。学年単位。新潟市の担当者に評価者として参加してもらう。
- 英語科の授業と連携し、スピーチコンテストを活用する**（表現）**。

【ユニット⑤】 実施：学年末考査終了後（2月下旬以降）。入検期間の課題も兼ねる

- ユニット④までの内容を、テンプレートに従って簡潔に論文形式でまとめる**（表現）**・**（まとめ）**。班単位の活動ではなく、各自で取り組む。
- 論文の写しを新潟市の担当者に送付する。